

岡山県高P連 会報

発行：岡山県高等学校PTA連合会

事務局：〒700-0824岡山市北区内山下1-14-19 / TEL：086-234-1640 / FAX：086-234-1835

URL：http://www.okayama-koupren.jp / E-mail：okayama-koupren@ybb.co.jp

第62号

『子どもを信じ切ろう』

岡山県高等学校PTA連合会会長
岡山地区連合会会長

小川 浩 基



皆様におかれましては、平素よりPTA活動にご協力いただき、たいへんありがとうございます。はからずもこのたび岡山県高等学校PTA連合会会長を任されることとなりました。PTA活動の経験の浅い私、このような責任ある立場に就くこととなり、身の引き締まる思いがしております。

多くの方々に自分の考えを述べる機会はめったにあることではありません。この貴重な機会に、私が日頃思っている大人の方々に共感してほしいことと子どもたちに知っておいてほしいことを1つずつお話しし挨拶に代えさせていただきます。

まずは、大人の方々に共感してほしいことです。「子どもを信じ切ろう」ということです。子どもに日頃か

ら、「あなたは必ず立派な人になる」と言って育てると、「あなたになんかできるものか」と言って育てるのでは、その子の将来に大きな差が出てくるだろうと考えています。どうも日本では、やる前から自分にはできないと思ってしまう子どもたちが多すぎるように感じています。個人の差は大きなものではありません。まして子どもたちには無限の可能性を持った未来が開けている。成果の違いは、やったかやらないか、場数の違いによるものがほとんどです。子どもには、「やったらできる」「失敗しても学べる」という基本的な考え方を身に付けてほしいと思っています。私たちが大人は、心の底から「あなたができる」と言ってあげましょう。人というものは、大切な人の期待を裏切りたくない生き物です。必ず期待に答えてくれるでしょう。

多くの異常な事件も、社会的に孤立した人格が招いていることが多いのではないのでしょうか。人は社会的な生き物です。孤立すると壊れてしまうのでしょうか。理論では説明できませんが、本能に根差した事実なのだと思います。幸福とは何かという問いに対するヒントを、著名なイノベーションの研究者であるクリステンセン教授が示してくれました。彼は、大病を患い絶望したのち、精神的に復興した経験から次のように記しています。「私は自分の問題、自分の欲求、自分にとって必要なことばかりを考えていたのです。私の不幸の原因は自分自身のそうした自己中心的な考え方なのであって、自分自身を通して、幸福とは私利、私欲、私心を捨てることによつて初めて手に入れられる心の安息なのだ気づいたのです」。幸福が、自分の中ではなく、他人や社会と自分との間にあるという事実を子どもたちが成長する過程で確信として持つてほしいと思っています。ぜひいぶいぶになるはずですよ。以上、私が確からしいと思っていることを2つ述べさせていただきますました。本文をきっかけとして、「子どもの幸福」について、あらためて思いを巡らせていただければ、役割を少し果たせたかと思えます。

「おせっかい教育」

旭東地区連合会会長 青山 浩 司

私が高等学校のPTA活動に携わらせて頂くようになって本年度で4年目となりました。今日までにPTA活動を通じてたくさんの方々に出会い、たくさんの方々にご支援頂きましたことを心より感謝申し上げます。私の人生の中で本当に大切に貴重な時間を過ごさせてもらっていることを我が子に感謝している毎日です。

PTAとして、また一親として、一地域人として、最近特に考えるのは「おせっかいは大切だ」ということです。人間が人間に興味を持つ・関心を持つことは生きていく上で当たり前のことです。そしてその中で人が人を好きになり、好きの連鎖が生まれ、世界が笑顔で溢れていくことが最も好ましい姿だと思っております。がしかし、最近の様々な報道等で耳にすることの多くが「人間への無関心」から生まれる悪循環によるものではないでしょうか。いじめや虐待行為を第三者が知り得たとしてもなかなか本質に踏み込めない、そして最悪の結末を迎えるといったケースが多々聞かれています。

「愛の反対は憎しみではなく無関心です」マザーテレサ現代の日本においては、今までになくプライベートが尊重され、他人の干渉が疎まれるようになり、他人に無関心な冷たい社会が徐々に現実化しているように感じてなりません。そういう私ももしこのようなPTA活動に参加することもなく、たくさんの方々の大切な出会いがなければ「無関心」な一人であったかもしれません。幸いにも私には今日までのPTA活動を通じて多くの方々にたくさんのお付きを頂き、たくさんの方々の学びを経験できました。そのたくさんの方々に対して大きな感謝の意を込めて、これからPTAとして、一親として、一地域人として、一大人として今まで躊躇していた「おせっかい」を勇気を持って実践していきたいと考えます。

他人を見過ごさない「おせっかい」はうざったい面もありますが、安心感のある社会の大切な要素です。「おせっかい」をもう一度見直して困った人に自然に手を差し伸べられる正常な社会になるように願わずにはいられません。

我々親世代が今一度襟を正して「おせっかい」教育、取り組んでみませんか。

「愛の反対は憎しみではなく無関心です」マザーテレサ現代の日本においては、今までになくプライベートが尊重され、他人の干渉が疎まれるようになり、他人に無関心



「今も昔も変わらないう？」

備南地区連合会会長 文谷昌史

本年度から、岡山県立倉敷鷺羽高等学校のPTA会長並びに備南地区連合会会長を務めさせていただいております。岡山市内で生まれ育った私が、こちらの地区でこのような大役を仰せつかり恐縮しております。

さて、本稿の執筆依頼をお受けし、何を書こうか悩んでおりますと、ふと昔のCMソングが頭をよぎりました。それは、火の用心の歌です。日曜日から土曜日までの一週間、それぞれの曜日に開いた歌詞がある、あの歌です。私には難しいことはよく分かりませんが、それはお世話になっている学校の先生方にお任せして、私が言える

「PTA活動」

倉敷地区連合会会長 棟長クルミ

本年度より、倉敷高等学校PTA会長、倉敷地区PTA連合会会長、岡山県高等学校PTA連合会副会長と大きな役をいただき気持ちも引き締まる思いです。でも、多くの人たちと出会い、さまざまな意見を交換できて本当によい体験をさせていた

倉敷高等学校のPTA活動は、オープンスクールで保護者相談カフェ・PTA研修旅行・文化祭でカレライス販売などさまざまな活動を行っています。本年度に新たな試みで、中学校教員対象オープンスクール・倉敷高等学校国際交流事業「お互いの文化と伝統を知る」研究会

「PTAは子供の応援団」

備西地区連合会会長 武田信子

本年度は岡山県立鴨方高校並びに、備西地区連合会会長また、岡山県高等学校PTA連合会副会長という大役を頂き、大きな責任を感じています。微力ではございますが、一生懸命取り組まさせていただきますのでどうぞ宜しくお願いします。

今まで小学校、中学校、高校とPTA役員としてまた、一保護者として活動してきて強く感じるのは、本当に時代はかなり変わったという事です。何もかもが便利になり過ぎて、何か大事な物を置き忘れてしまったような気がしてなりません。携帯電話やスマートフォン、普及し社会全体のグローバル化など

変化に伴い子供達の高校生活も変わりつつあると思います。先日ある保護者の方と懇談していた時の話ですが、子供さんが朝起きる時間をスマートフォンで伝えて来るそうです。お互いに忙しいから、ついラインで伝えてるとおっしゃってました。

友人と話すのもライン、家族ともラインこれでもいいのでしょうか？ 私達の知らない所で子供達の心は激しく揺れているのでは無いでしょうか、だからこそ根気よく「聞き役」に徹していかなくてはならないのでは無いかと思います。子供達は話す事

「PTA活動から得たもの」

備北地区連合会会長 宮本由里子

「大丈夫。自分を信じて」これは、受験を控えた三年生へのメッセージの一つです。センター試験も終わり、二次試験に向けて三年生が頑張つて

いる頃、一二年生が、福山や鬼ノ城に登るウォーキングという行事が総社高校にはあります。PTAでは、寒い中を歩いて学校に帰って来た子ども達を

温かいお汁粉で迎えるという活動をしています。その頃は、進路の決まっている三年生もいますが、ラストスパートをかけて登校している三年生もいます。そんな子どもたちを応援する気持ちを込めて、三年生にもお汁粉を食べてもらっています。昨年は、役員の方々が、思い思いのメッセージを箸袋に書いて渡しました。箸袋には、一人分のメッセージしか書けませんが役員みんなからの思いが詰まっています。そしてその時は、それぞれの思いが届けられたという一方向な気持ちでも満足して

「自分の役割」

美作地区連合会会長 岡悦宣

温かいお汁粉で迎えるという活動をしています。その頃は、進路の決まっている三年生もいますが、ラストスパートをかけて登校している三年生もいます。そんな子どもたちを応援する気持ちを込めて、三年生にもお汁粉を食べてもらっています。昨年は、役員の方々が、思い思いのメッセージを箸袋に書いて渡しました。箸袋には、一人分のメッセージしか書けませんが役員みんなからの思いが詰まっています。そしてその時は、それぞれの思いが届けられたという一方向な気持ちでも満足して

平素より、皆様にはPTA活動に多大なご尽力をいただき、深いご理解とご協力、心から感謝申し上げます。さて昨今、社会的価値観の多様化や流動化が進み、進学・就職を問わず、進路選択をめぐる環境も大きく変化してきています。

その中で、子ども達が様々な困難に耐える力を養い、将来の夢と学業を結びつけ、自らの能力・適性を生かしながら、主体的に進路選択ができるよう、私たち保護者は支え、応援したいと思っております。

高校時代は大人の入り口であり、精神的にも身体的にも成長著しい重要な時期であり、子ども達が「夢」を持つだけでなく、社会における自分の「役割」につながる「志」を立てる時期でもあります。その「志」を高く持ち続ける事は、たくましく

生き抜く力になると考えます。人間ひとりでは生きられません。集団の中で役割を担い、つながりをもって暮らし、多くの人から恩恵を受けます。又当然、自らも恩恵を与えていきます。幸せに生きている人には、明確な「自分の役割」があり、その役割を果たす事に生きがいを感じ、頑張れるのです。我々保護者にとっても、子どもを育てるという役割の一つとして、三年間高校生活を見守ることが、この上ない喜びであり、子育てをさせてもらったと言う感謝の念すらあります。保護者の皆様、子ども達の将来の夢が少しでも実現できるよう、学校の先生方と一体となって力を合わせ、応援をしていきましょう。

平成26年度岡山県高等学校PTA連合会及び安全互助会総会報告

平成26年6月18日(水) 【講演】
ピアリティまきびにおいて開催しました。 「わかりあえない時代の『対話力』入門」

日本教育大学院大学 客員教授 北川 達夫氏



今の若者はコミュニケーション能力が低いと言われていますが、本当にそうなのか、コミュニケーション能力とは何かを事例を挙げながら説明していただきました。わからない環境にあるからこそ「話す」しかないのです。対話に必要なことは、まず、「なぜ?」と問い、相手を理解しようとする。そしてどうしても理解できないときは、許せる部分で問題解決を図り、違いの中で妥協点をみつけて行く事が大切であると「対話力」について深く考える事ができました。

岡山県高等学校PTA連合会功労者表彰(表彰状12名、感謝状91名)を行い、次に平成25年度事業報告・会計決算報告・監査報告、安全互助会についての説明、平成26年度の新役員を紹介し、事業計画(案)・会計予算(案)を協議しました。

また、総会閉会后、研修会(講演)を実施しました。

功労者表彰受賞者

表彰状受賞者12名

敬称略

- 加藤馨子(岡山工業)
- 矢定繁山(岡山陽女子)
- 植野美智子(岡山御津)
- 吉田康正(岡山白陵)
- 松井克爾(倉敷鷺羽)
- 國司克子(倉敷南)
- 井上英彦(清心女子)
- 富吉秀昭(倉敷)
- 藤井常子(鴨方)
- 大舌勲(井原)
- 西田光徳(興譲館)
- 押目真吾(津山工業)
- 福武孝之(岡山朝日)
- 太田直宏(岡山操山)
- 黒住輝久(岡山大安寺)
- 三井浩一(岡山芳泉)
- 三村邦彦(岡山一宮)
- 江草昭高(松農)
- 田尾公人(岡山城東)
- 岡村正美(岡山城東)
- 矢部修一(岡山理科大附属)
- 是友美恵子(岡山理科大附属)
- 赤松章子(岡山理科大附属)
- 青木優子(岡山理科大附属)
- 岡崎浩二(岡山陽女子)
- 岡邊圭三(岡山陽女子)
- 芳賀美年(岡山陽女子)
- 川崎圭子(岡山陽女子)
- 西岡健次(岡山陽女子)
- 宮地充代(岡山陽女子)
- 奥山忍就(岡山陽女子)
- 高原俊彦(岡山陽女子)

- 大長伸英(岡山誠学院)
- 南恭子(岡山誠学院)
- 岡田美穂(岡山誠学院)
- 稲見真貴子(岡山誠学院)
- 荒谷紘子(岡山誠学院)
- 山室祥佳(岡山誠学院)
- 萩原一郎(岡山誠学院)
- 國塩尚志(岡山誠学院)
- 野満信介(岡山誠学院)
- 奥中ひろみ(岡山誠学院)
- 川崎千恵美(岡山誠学院)
- 宇山正樹(岡山誠学院)
- 大西貴子(岡山誠学院)
- 田島浩太郎(岡山誠学院)
- 中村さとみ(岡山誠学院)
- 川原珠美(岡山誠学院)
- 山田久子(岡山誠学院)
- 堀瀬敏雄(岡山誠学院)
- 分島智枝子(岡山誠学院)
- 鮫嶋暢子(岡山誠学院)
- 國富呂弘(岡山誠学院)
- 井根美代子(岡山誠学院)
- 有井京子(岡山誠学院)
- 小倉祐加子(岡山誠学院)
- 川原ひとみ(岡山誠学院)
- 湯谷明弘(岡山誠学院)
- 神野比和子(岡山誠学院)
- 畑野幸雄(岡山誠学院)
- 小川恵子(岡山誠学院)
- 合田幸子(岡山誠学院)
- 加藤道恵(岡山誠学院)
- 田畑弘代(岡山誠学院)
- 松岡平八郎(岡山誠学院)
- 戸清泰二(岡山誠学院)
- 三宅三和(岡山誠学院)
- 高畑智美(岡山誠学院)
- 田中良幸(岡山誠学院)
- 森崇文(岡山誠学院)

- 新谷克子(岡山)
- 塩飽ゆみ(岡山)
- 吉岡大介(岡山)
- 若田昌紀(岡山)
- 稲田欽也(岡山)
- 鶴海さゆみ(岡山)
- 坂田正治(岡山)
- 小川まりえ(岡山)
- 藤井幸治(岡山)
- 山上憲一郎(岡山)
- 白石誠(岡山)
- 西田陽子(岡山)
- 佐伯浩子(岡山)
- 石田雄一(岡山)
- 横山豊高(岡山)
- 船越二郎(岡山)
- 横井常代(岡山)
- 三輪英俊(岡山)
- 安藤久美子(岡山)
- 村上真知子(岡山)
- 小林重隆(岡山)
- 太田才一(岡山)
- 難波敏喜(岡山)
- 渡邊一弘(岡山)
- 龍門昇太郎(岡山)
- 河股成実(岡山)
- 米井真由子(岡山)
- 戸塚啓之(岡山)
- 中島靖彦(岡山)
- 樋口昭文(岡山)
- 野上和宏(岡山)
- 水島強勝(岡山)
- 稲葉伸次(岡山)

平成26年度 役員

- 会長 小川 浩基(岡山一宮P)
- 副会長 黒瀬 一雄(松徳養育)
- 青山 浩文(岡山一宮P)
- 棟長 クルミ(倉敷鷺羽P)
- 武田 信子(鴨方P)
- 岡 悦宣(津山P)
- 監事 文谷 昌史(倉敷鷺羽P)
- 宮本 由里子(津山P)
- 高崎 恵子(岡山原作陽P)

〔東日本大震災〕 義援金活動の継続

東日本大震災が発生してから3年以上経ちましたが、復旧・復興には長期に渡ると考えられます。全国高等学校PTA連合会では義援金を募る活動を継続することとなりました。当連合会におきましても支援を継続いたしますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第56回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会(高知大会)報告



監督と球児の関わり方や、一人一人の性格、その子の技量などを良く把握し、どんなにピンチになった時でもその子を信じて試合に臨まれた監督の経験のお話から、私たちにも学ぶべき事がたくさんありました。

【研究協議】

●家庭教育とPTA

「歴史と伝統がはくむキャリア教育」
島根県立松江北高等学校 PTA

大学進学後、就職を地元に戻って欲しいとの願いから、高校生の段階で、働く事の意義や、職業観に興味関心を持たせたいと「職業人講話」を学校とタイアップして始め、キャリア教育を発展させた。

●生徒指導とPTA

「特色ある学校づくりを通しての生徒指導」
山口県防府商工高等学校 PTA

地域との様々な機関と関わり合いながら子供たちと共に取り組んだ実践活動の紹介をし、生徒指導とは、地域で子供たちと接点を持ち、大人の生き方を示し続ける事である。だからこそ身近な大人である保護者の役割は重要である。と発表

【講演】

「野球と私」

名古屋商科大学硬式野球部監督(元PL学園野球部監督)
中村順司氏

中村順司氏

第64回全国高等学校PTA連合会大会(福井大会)報告



【全国高P連会長 開会挨拶】

●高校再編とPTA
「プロジェクト41」地域振興の要は健全な高校存続
高知県立嶺北高等学校 PTA
生徒数が減り、高校の存続の危機に直面した嶺北高等学校は、地域振興を要と

し、学校存続への様々な取組への発表があった。
閉会行事で、来年開催予定の岡山県の参加者全員から「岡山で会いましょう！」との言葉で、大会は閉幕しました。

の確立、グローバル人材育成のためにスーパーグローバルハイスクールを増やし、高校生を世界送り出す取組等、この一年間の報告がありました。



【高校生アトラクション】

●表彰式

開会式終了後、文部科学大臣表彰に続き全国会長表彰(個人・団体、役員等)が行われ、岡山県からの受賞者は次のとおりです。

【全国会長表彰】

*個人

井上 英彦氏

(清心女子高等学校)

前PTA会長

植野 美智子氏

(県立岡山御津高等学校 前PTA会長)

前PTA会長

*団体

県立岡山工業高等学校奨学会

県立真庭高等学校PTA

*役員

武田 浩一氏

(岡山県高等学校 PTA連合会前会長)

◆基調講演

講師 脳科学者 茂木 健一郎氏

演題 今求められる考福
脳

脳科学者からの提案
新しいことに挑戦し続けること、できない事ができる様になることで人の脳は成長していく。脳は一生学び続けることができる。そして、自分の個性を受け入れ、他との違いを認めることで幸福になる。と学びと幸せを脳科学からわかりやすく、ユーモラスに解説いただいた。

◆記念講演

講師 福井恐竜博物館 特別館長

東 洋一氏

演題 福井の恐竜
アジア、そして世界へ

福井で発掘された恐竜の化石を調査していくうちにアジアからヨーロッパ地域へと恐竜の動きが伝わった。恐竜から鳥類へと進化した化石も発掘され、化石から様々な発見があり、とても興味深い話でした。

第57回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会
岡山大会
期日:平成27年7月10日
場所:岡山市民会館

岡山大会に向けて、昨年度は準備委員会を編成し、今年度は総会で承認いただき実行委員会を組織いたしました。7月7日第1回実行委員会を開催し、各協力校に大会の説明等を行いました。今後さらに具体的に内容を協議し、準備を整えていくこととしています。
岡山県高P連の組織の総力を結集した有意義な大会となりますよう皆様のご理解とご支援をよろしくお願いたします。

第57回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会
岡山大会

●全国単位PTA広報紙展示
*県立高松農業高等学校
「高農PTA新聞」
*県立笠岡高等学校
「親千鳥」
なお、来年度の第65回大会は、平成27年8月19日(水)〜21日(金)に岩手県で開催されます。